

共同研究：高等部編

1. はじめに

2. 研究経過

3. 各論

▶（実態把握～資料管理＋学習指導案）

4. 来年度への展望

1. はじめに

拡大する能力差への対応

■教育課程の再編成 生活学習

- ▶固定された班編成（仙台，松島，蔵王）
- ▶集中学習の日の設置
- ▶国語・数学を生活学習へ（生活II）

■学級経営案の様式の改善

2 . 研究経過

■本年度の課題の設定

■ 3 回の授業研究会【生活学習】

- ▶ 学芸会（個別目標を授業に反映させる）
- ▶ 進路（様々な目標を達成させる授業）
- ▶ 余暇（個別に評価する）

■マニュアルづくり

3 . 各論

1) 実態把握

2) 本年度の課題

3) 目標の設定

4) 授業前後の記録

5) 評価

6) 題材配当

7) 資料管理

8) 指導案

各論1)実態把握

■新しい様式の導入

- ▶生活地図・生活スケジュール・チェックリスト・将来の予想, その他

■親（学園）との共同作業

■「生徒の実態」の書き方

- ▶本年度の課題と一対一になるように書く

各論2)本年度の課題

■ 3年間の記録ができる様式

■ 課題の書き表し方

- ▶ 実際の指導場面をイメージして具体的な表現にする
- ▶ 否定的な表現や実態の単なる裏返しはさける
- ▶ 指導時間のリクエストは形態名で
- ▶ それぞれの課題に通し番号をふる（ 評価）

各論3) 目標の設定

■ 個人目標と題材の対応表

- ▶ 班別の生活学習（集中学習）
- ▶ それ以外の生活学習（全体，学年など）

各論4)授業前後の記録

■指導展開計画

■生活学習・記録 / 担当者用

- ▶ 指導の手だて

- ▶ 到達度評価

■生活学習 題材別 個人記録

各論5)評価 -1

■ 事実在即して具体的に

- ▶ 授業中のメモの活用

■ 到達度の途中経過で表現

- ▶ 次の指導の手だてのヒントになるように
- ▶ 次の個人目標を立てやすくするため
- ▶ 情報公開への対応（否定的表現の排除）

各論5)評価 -2

■ 3つの記号

▶ , , ×

■ 評価の種類

- ▶ 題材ごとの評価
- ▶ 学期末・学年末の評価
- ▶ 本年度の課題の評価（学級担任）

各論6) 題材配当

■ 個別目標と題材の対応表

- ▶ 指導場面を設定できた
- ▶ 指導場面を設定できなかった ×

各論7)資料管理 / 検討中

- 個人ファイル (年度ごと)
- 班別ファイル (年度ごと)
- 利用閲覧簿 (持ち出し禁止)
 - ▶ プライバシー保護
 - ▶ 情報の共有

各論8)学習指導案 / 検討中

■鋭意検討中

■しばらくお待ちください



4 . 来年度への展望

拡大する能力差への対応

- 指導技術の向上（ 授業研究 , 日々の指導 ）
- 指導の流れの改善（ マニュアルの改訂 ）
 - ▶ 抽出事例
 - ▶ リアルタイムな改善案の収集
- 親（ 学園 ）との連携（ 実態把握 , 評価 ）